

## 令和2年度学校評価報告書

北海道室蘭東翔高等学校長

## 1 本年度の重点目標

- |  |
|--|
| <p>1 キャリア教育を通じて、進路達成を目指して主体的に努力する生徒を育成する。<br/>計画的・組織的・積極的なキャリア教育によって、生徒一人ひとりに自らの人生設計を主体的に考えさせ、その実現に向けて努力し続ける態度を育成する。</p> <p>2 教育課程の適切な編成・実施により、基礎的能力と発展的能力のバランスの取れた育成をめざす社会人として求められる基礎的な学力・健康な心身を全ての生徒に身に付けさせ、さらに、生徒個々人の興味・関心や進路希望等に応じて能力の一層の伸張を図る。</p> <p>3 全ての教育活動を通じて思考力・判断力・表現力を育成し、人間関係形成能力を培う教科・特別活動・部活動等を通じて多様な体験的学習や言語活動を行い、自己と他者及び社会を理解する能力、適切な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力を培う。</p> |
|--|

## 2 自己評価結果・学校関係者評価の結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	生徒アンケートでは、「意欲的に授業に取り組んでいない」とした者が 21.8%、「勉強の仕方が身に付いていない」とした者が 33.1%である。教職員アンケートでは、「自ら学び考える力の育成が不十分」とした者が 33.4%、主体的な学習習慣の確立が不十分」とした者が 52.4%であり、自ら学び考える意欲、新しい知識を獲得する力の向上が必要である。	学習指導の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ほぼ適切である。
改善方策	(1) 各教科・科目の特性に応じて、主体的・対話的で深い学びの充実に取り組む。 (2) 授業規律を徹底するとともに、家庭学習の習慣化に取り組む。 (3) 計画的な研究授業等に取り組む。	
生活指導	生徒アンケートでは、「規則正しい生活習慣が身に付いていない」とした者が 27.8%、「礼儀やマナーが身に付いていない」と回答したものが 7.8%である。教職員アンケートでは、「挨拶の習慣化、基本的な生活習慣の確立が不十分」とした者が 23.8%、「他を思い遣り尊重する意識の高揚が不十分」とした者が 16.7%であり、多様な人々と協働する意欲、自らの言動を律する力の向上が必要である。	生活指導の「自己評価と取組」、「改善方策」は、適切である。
改善方策	(1) 人としての在り方・生き方を考えさせる指導に取り組む。 (2) 挨拶の習慣化、基本的な生活習慣の確立に取り組む。 (3) 生徒会主体のボランティア活動やいじめ根絶の活動に取り組む。	
進路指導	生徒アンケートでは、「進路目標が明確になっていない」とした者が 21.0%である。教職員アンケートでは、「キャリア教育の推進が不十分」とした者が 14.3%、保護者アンケートでは、「自己理解と将来の生き方を考えさせる指導が不十分とした方が 14%、「進路希望に関する情報提供が不十分」とした方が 23%であり、主体的に進路を選択する意欲と情報を取捨選択・活用する力の向上が必要である。	進路指導の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ほぼ適切である。
改善方策	(1) 「産業社会と人間」、「総合的な探究の時間」と関連づけて、進路への自覚を深めさせる学習に取り組む。 (2) 計画的な生徒面談や保護者面談の実施に取り組む。	

健康安全 指導	生徒アンケートでは、「いじめのない学校づくりを行っていない」とした者が 16.4%、「悩みや困ったことを先生に相談できない」とした者が 25.8%である。教職員アンケートでは、「自ら健康管理を行う態度の育成が不十分」とした者が 14.3%、「危機管理体制の整備が不十分」とした者が 7.1%であり、自ら健康管理を行う意欲と力の向上、生徒が悩み困ったことを相談できる体制の構築が必要である。	健康安全指導の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ほぼ適切である。
改善方策	(1) 生徒自ら健康やいじめについて考え、行動する活動の推進に取り組む。 (2) 危機管理マニュアルを充実するとともに、実効性のある避難訓練の実施に取り組む。	
学校運営 教職員の 指導力向上	教職員のアンケートでは、「協働体制による時間外勤務削減が不十分」とした者が 40.5%、「部活動負担の軽減が不十分」とした者が 28.6%、「校内外の授業研究等が不十分」とした者が 28.6%であり、計画的・組織的な取り組みや研修の推進が必要である。	学校運営、教職員の指導力向上の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ほぼ適切である。
改善方策	(1) 校務運営会議など校内組織の活性化に取り組む。 (2) 部活動に係わる活動方針、大会引率に係わる週休日の振り替えの徹底に取り組む。 (3) 計画的な校内研修の実施に取り組む。	
地域との連携	保護者アンケートでは、「適切な広報活動が不十分」とした方が 13%であり、日常的な情報発信の推進が必要である。	地域との連携の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ほぼ適切である。
改善方策	(1) 学校HPや学校配信メールによる情報の発信に取り組む。 (2) 計画的な公開授業等の実施に取り組む。	
公表方法	1 P T A 役員会、P T A 総会、学校評議員会において内容の詳細について説明。 2 学校ホームページに掲載。	